

AXSM Drive Software Ver. 3.5.0 Win/Mac 版をリリースします。本ドキュメントでは AXSM Drive Software のインストール方法と使用上の注意事項について説明します。

AXS-CR1 および AXS-AR1、AXS-AR3 本体同梱の取扱説明書（以下“取説”と略記）と合わせてご覧ください。

【Ver. 3.5.0 で対応した内容】

- ・AXS Memory Card Firmware の最新バージョンに対応しました(Win/Mac 版)
- ・脆弱性を対策しました(Win 版)
- ・macOS Tahoe 26.2 をサポートしました(Mac 版)

補足: Apple Silicon 搭載 Mac にインストールする場合、Security Policy の設定変更が必要です。詳細は下記を参照下さい。

【動作環境】

この AXSM Drive Software Ver. 3.5.0 は下記の環境で動作確認済です。

ご注意) Windows には注意すべき制限事項がありますので、末尾「Windows 環境について」を参照ください。

Apple Silicon 搭載 Mac の場合は、「セキュリティポリシーの設定」を行なう必要がある場合があります。

詳細は、後述する「インストール方法」を参照下さい。

対応 OS

Windows 10 Pro 64 bit 22H2 ESU ※1

Windows 11 Pro 64 bit 25H2, 24H2

macOS Sonoma 14.8.3 ※2

macOS Sequoia 15.7.3 ※2

macOS Tahoe 26.2 ※2

※1 Microsoft 社から提供される Windows 10 の拡張セキュリティ更新プログラム(ESU)の購入が必要です。

※2 Intel Mac 製品および、Apple シリコン搭載 Mac 製品に対応しています。

Memory

4GB 以上

HDD の空き容量

10GB 以上

AXS-CR1 使用時

AXS-CR1 は上記すべての OS に対応しています。

Hi-Speed USB(USB 2.0)

本機との接続には、Hi-Speed USB(USB 2.0)ホストコントローラーが必要です。

SuperSpeed USB(USB 3.0)

本機との接続には、SuperSpeed USB(USB 3.0)ホストコントローラーが必要です。

AXS-AR1 使用時

AXS-AR1 は Mac のみ対応しています。

Thunderbolt 2

本機との Mac との接続には、Thunderbolt 2 コントローラーが必要です。

Thunderbolt 3

本機との Mac との接続には、Thunderbolt 3 – Thunderbolt 2 アダプターが必要です。

AXS-AR3 使用時

AXS-AR3 は Mac に加えて、Windows10、11 に対応しています。ただし、Windows10、11 には制限事項がありますので、下記の【制限事項】を参照ください。

Thunderbolt 3

本機との Win/Mac との接続には、Thunderbolt 3 コントローラーが必要です。

ご注意

上記の動作実績は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

【AXSM Drive Software のインストール方法】

AXSMDriveSoftware_3_5_0_mac.zip もしくは、AXSMDriveSoftware_3_5_0_win.zip を解凍してください。

AXSMDriveSoftware_3_5_0_mac.dmg もしくは、AXSMDriveSoftware_3_5_0_win.exe をダブルクリックして、インストーラーの指示に従ってください。

Mac の場合

以前のバージョンのソフトウェアは上書きされるので削除の必要はありません。

インストールする際は、後述する、システムソフトウェアの許可を行なって下さい。

Windows の場合

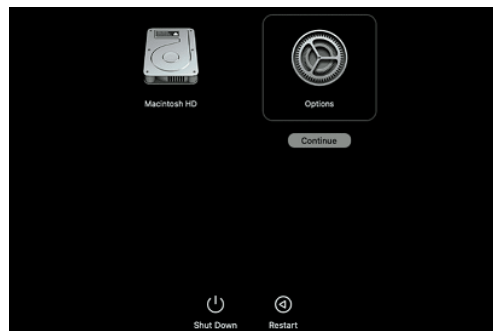
「プログラムと機能」で以前のバージョンを選択し削除してから、インストールしてください。

インストール後、OS の再起動が促されますので、OS の再起動をお願いします。

・Apple Silicon 搭載 Mac にインストールする際は、セキュリティポリシーの設定変更が必要です。

Apple シリコンを搭載した Mac に「AXSM Drive Utility」をインストールするときは、あらかじめ下記の手順でセキュリティポリシーの設定を「低セキュリティ」に変更する必要があります。

1. Apple シリコンを搭載した Mac で、アップルメニュー > [システム終了]と選択してコンピューターの電源を切ります。
2. [起動オプションを読み込み中]と表示されるまで電源ボタンを押したままにします。
3. [オプション]をクリックしてから、[続ける]をクリックします。



4. macOS 復旧でユーザ選択が求められる場合は、[次へ]をクリックし、必要に応じて、管理者アカウントのパスワードを入力します。
5. [復旧]アプリケーションで、[ユーティリティ] > [起動セキュリティユーティリティ]と選択します。
6. 使用する起動ディスクを選択します。ディスクが FileVault で暗号化されている場合は[ロックを解除]をクリックし、パスワードを入力してから[ロックを解除]をクリックします。
7. [セキュリティポリシー]をクリックします。
8. [低セキュリティ]を選択し、[確認済みの開発元から提供されたカーネル機能拡張のユーザ管理を許可]チェックボックスを選択して、レガシーのカーネル機能拡張を使用するソフトウェアのインストールを許可します。その際、必要に応じて管理者アカウントとパスワードを入力します。

9. Mac を再起動して変更内容を適用します。

・macOS 14.8、15.7、26.2 にインストールする際は、システムソフトウェアの許可が必要です。

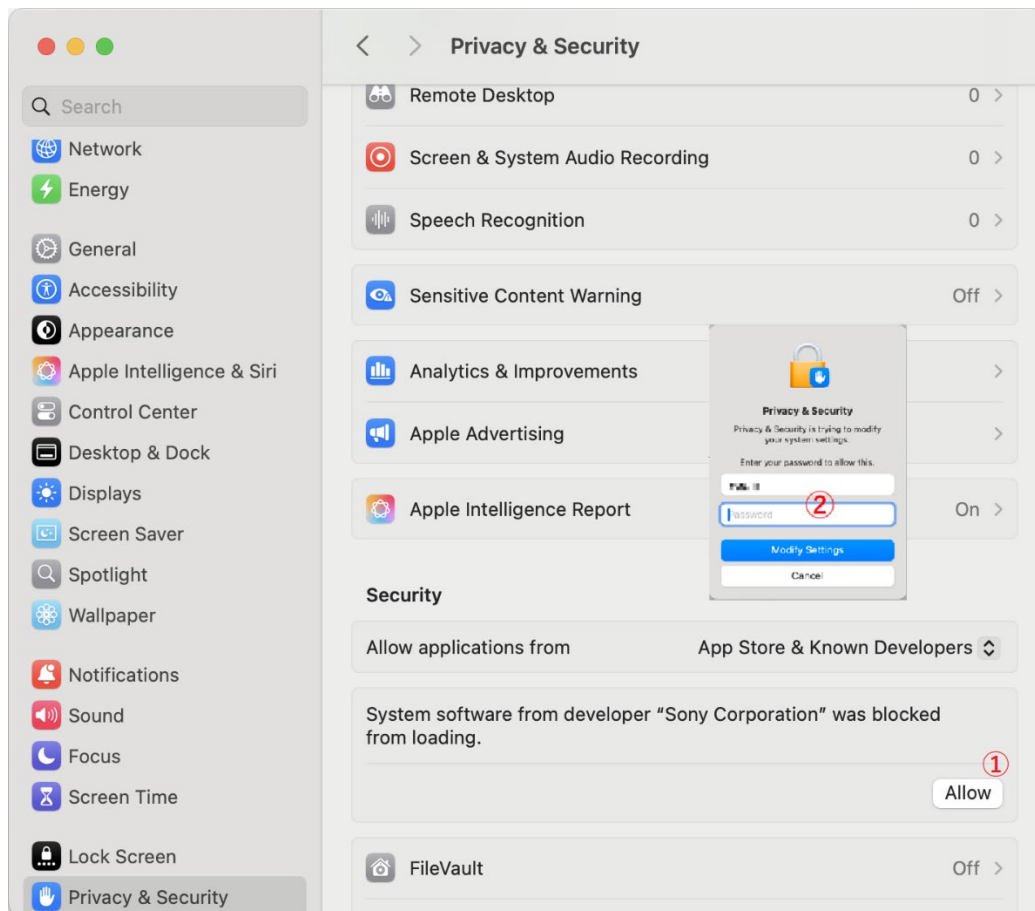
下記のように「システム環境設定」画面を開き、読み込み許可が要求されている場合、必ず「システムソフトウェアの読み込み」を”許可”してください。

上書きインストールの場合など、前回のインストール時にすでに許可されている場合は不要です。但し、新しく追加された物がある場合は、それらもチェックするようにしてください。

[System Settings]から[Privacy & Security]を開きます。

1. “ブロックされているシステムソフトウェア”の右側にある、許可ボタンを押してください。
2. 管理者 ID とパスワードを入力してください。

(下図参照)



【言語対応について】

本ユーティリティは、システムの言語環境にあわせて、言語(EN/JP)の切り替えを自動的に行ないます。

【制限事項】

省電力モードに設定した場合、最悪メディアを壊すことがあります。

- ・ Windows や Mac がスリープすると、外部デバイスと OS の間で、状態不整合が生じるため、PC がブルースクリーンになることがあります。
- ・ また、処理実行中に Windows や Mac がスリープすると、メディアを壊す場合があります。特にファームウェアアップデートやメモリーフォーマットを実行する時は、必ずスリープしないようにしてください。

メディアの取り出し操作について

- ・ 通常時に AXS-CR1 からメディアを直接取り出した場合、デスクトップにメディアアイコンが残ったままとなります。
- ・ アイコンが残った場合でも、アイコンをゴミ箱にドラッグ & ドロップすることでアイコンを消すことができます。

Mac との USB3.0 接続について

- ・ Mac 標準搭載の USB3.0 ポートに AXS-CR1 を接続してご使用ください。
- ・ 他社製の USB3.0 カードは AXS-CR1 を正しく認識しなかったり、データ転送が正しく行われなかったりする場合があります。特に、クリップファイルの転送を行なった際は、必ず、RAW Viewer などのアプリケーションで確認するようにしてください。

Windows PC との Thunderbolt3 接続について

- ・ Windows PC 標準搭載の Thunderbolt3 ポートに AXS-AR3 を接続してご使用ください。
他社製の Thunderbolt3 カードは AXS-AR3 を正しく認識しなかったり、データ転送が正しく行われなかったりする場合があります。特に、クリップファイルの転送を行なった際は、必ず、RAW Viewer などのアプリケーションで確認するようにしてください。
- ・ Windows では、複数台の AXS-AR3 を接続しても、正しく認識しない場合があります。
- ・ Windows で省電力モードに設定した場合、標準の BIOS 設定では Thunderbolt が正しく動作しない場合があります。どうしても、省電力モードで使いたい場合は、以下の注意事項の 2. マシン環境の設定 で Thunderbolt の省電力設定を無効にすることも検討してください。

【注意事項】

1. 操作上の注意

OS がメディアをマウントする前に本ソフトウェアで操作を行なうと、コンピューターが不安定になる場合があります

- ・ 必ずメディアアイコンがデスクトップに表示されてから、本ソフトウェアでの操作を行なってください。
- ・ OS 標準のファイルシステムドライバでマウントしてしまうとアクセスが遅くなるため、OS が起動してから、メディアをマウントしてください。

AXS メモリーカードのフルフォーマット、および、AXS メモリーカードのファームウェアアップデート操作について

- ・ Finder や Explorer など他のアプリケーションでメディアを開いたり、アクセスしている場合は実行できません。
- ・ フルフォーマットすると、完了時にメディアが自動的にコンピューターからアンマウントされます。完了後、同じメディアを継続して操作する場合は、再度メディアをドライブに挿入して下さい。
- ・ ファームウェア更新中にドライブのケーブルや AXS メモリーカードの抜き差しをしないでください。
- ・ ファームウェアアップデートすると、以下の場合を除いて、メディアは自動的にアンマウントされます。

Windows で AXS-AR3 をお使いの場合

アンマウントした後、自動的に再マウントされるので、OS 上のドライブから、AXS メモリーカードを取り出す。

Mac で AXS-CR1 をお使いの場合

自動的にアンマウントされませんので、AXS メモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」に、ドラッグ & ドロップしてください。

AXS-AR3 ドライブ本体のファームウェアアップデート操作について

- ・ ファームウェアアップデート終了後に表示される、ダイアログ表示に従ってください。
- ・ Thunderbolt3 ケーブルを切断しても、再起動しない場合がありますので、必ず、ドライブ本体の電源アダプターを一度切断し、再度電源アダプターを接続してください。

ファームウェアの更新中にケーブルを切断してしまった場合

メディアあるいはドライブが壊れるか、コンピューターが不安定になって動作しなくなる可能性があります。もしそうなった場合、少し待ってからメディアを再挿入するか、コンピューターを再起動して下さい。メディアやドライブが壊れていなければ、正常に動作します。

クリップリカバリー機能について

- ・ AXS-R7 のファームウェア Version 6.00 で作成されたファイルで動作確認をしています。
- ・ AXS-R5 については、ファームウェア Version 2.00 以降で作成されたファイルをサポートしています。
Version 2.00 以前の AXS-R5 ファームウェアで作成されたファイルは、AXS-R5 のリストア機能で修復して下さい。
- ・ この機能は AXS メモリーカード 自体を修復するものではありません。AXS メモリーカード 自体を修復する場合は、AXS-R5 もしくは AXS-R7 のリストア機能を試してください。ただし、完全に修復を保証するものではありません。
- ・ この機能ではクリップファイル以外の修復は行なえません。
- ・ この機能はデータを転送しながらリカバリーを行なうため、ファイルサイズに応じて処理時間がかかります。
- ・ AXS メモリーカード内にある要修復ファイルをリカバリーしている間は不用意に AXS メモリーカードにアクセスするのは控えて下さい。
- ・ リカバリーしたクリップは必ず、RAW Viewer などのアプリケーションで問題ないことを確認してください。
- ・ VENICE 2 等で撮影したクリップをご確認される際は、VENICE 2 に対応した、Viewer アプリケーションをお使い下さい。

<補足>

Catalyst Browse で Recovery フォルダの修復済クリップを認識できない場合、Finder から直接、そのクリップをアプリの画面上に Drag&Drop するか、Desktop などの別のフォルダに移動すれば、修復結果を確認することが出来ます。

2. マシン環境の設定

ドライブの正常動作の妨げになる可能性がありますので、電力モードはハイパフォーマンスをお勧めします。
常駐型のアンチウイルスソフト、バックアップツール、自己暗号化ドライブ管理サービス(ドライブ用セキュリティ管理ソフトウェア)、RAID 管理ソフトウェアなどのストレージ管理ソフトについても、一時的に無効にする事をお勧めします。

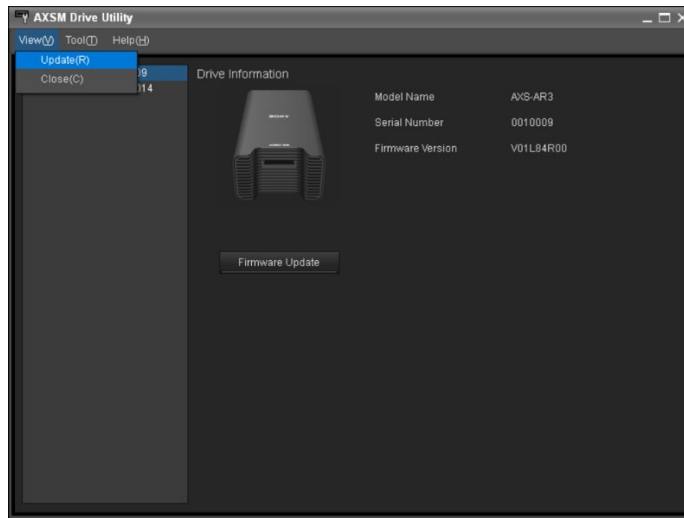
SoftRAID をお使いの場合

AXS Memory を SMART 対象デバイスから外すことで、操作レスポンスが改善することがあります。
SoftRAID アプリケーションの「SMART 無効」メニューで設定してください。

Windows10,11 の省電力モードで AXS-AR3 をお使いになりたい場合

以下の 1)か 2)をお試しください。

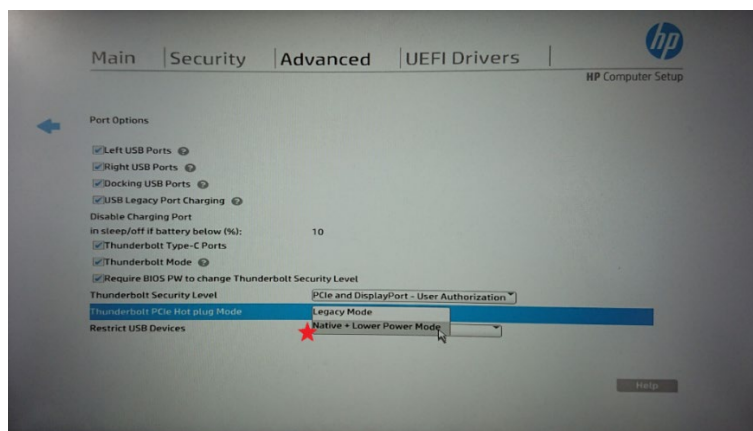
- 1) メディアを抜く際は、必ず Utility の表示[VIEW]メニューにある、更新[Update]ボタンを押してから抜く
補足)Windows 版 Utility の更新[update]機能には、OS にドライブの状態変化を知らせる機能が備わっています。
但し、【制限事項】に記載した、メディアの故障を防ぐものではありませんのでご注意ください。



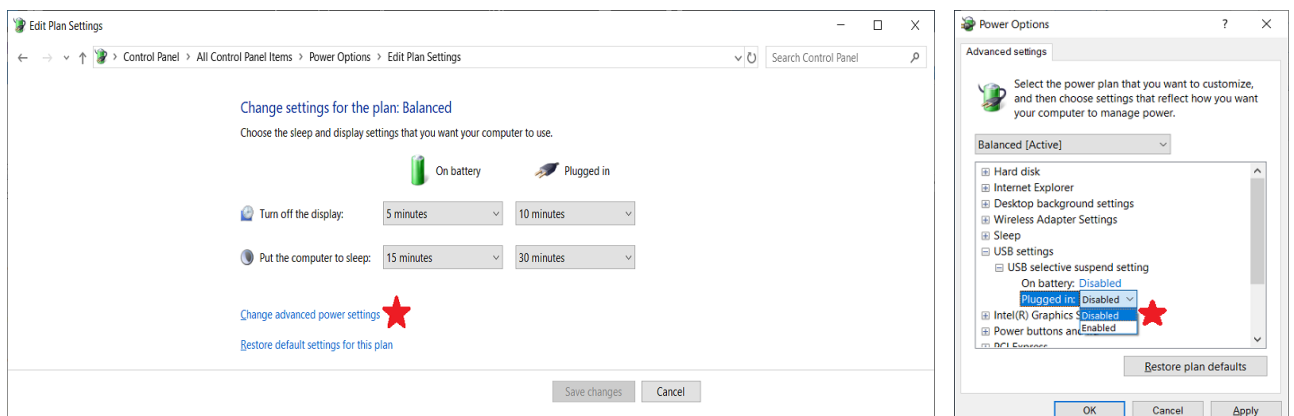
- 2) Windows PC の Thunderbolt デバイスの省電力モードに関する設定を行なう

PC の適切な BIOS 設定については、各 PC メーカーにお問い合わせください。下記は、HP 社製 EliteBook の例になります。

- a) UEFI BIOS 内の Advanced > Port Options > Thunderbolt PCIe Hot plug Mode を “Native + Lower Power mode” に設定し、Main 内の Save and Exit で確定させる



- b) Windows OS の Control Panel で Power Options の Advanced Setting を開き、USB Selective Suspend 設定内の Plugged in を Disable に設定する



3. AXS メモリーカードの初期化について

OS 標準のフォーマット機能で初期化しないで下さい。必ず、AXS-R5 もしくは AXS-R7 もしくは VENICE 2 で Format するか、本ソフトウェア でフルフォーマット<Full Format>を行なって下さい。

4. AXS メモリーカードの寿命データ表示について

AXSM Drive Utility のバージョン 3.1 以降では、AXS メモリーカードの寿命データ(80%以下の場合)が表示されます。

5. AXS-CR1/AXS-AR1/AXS-AR3 について

本機は、必ず、電源アダプターを接続して使用して下さい。

詳しくは、AXS-CR1/AXS-AR1/AXS-AR3 の取説を参照ください。

6. SxS メモリーカードを使うには

AXS-AR1 にて、上記 SxS メモリーカードに関する機能を使用する場合、SxS UDF Driver をインストールする必要があります。

弊社のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。

7. SxS PRO X メモリーカード用ドライブファームウェアについて

AXS-AR1 で SxS PRO X メモリーをお使いになる場合、稀に接続が安定しない場合があります。

その際は、リリースされている、最新の SxS 用ドライブファームウェアに更新することで改善できます。

SxS PRO X メモリー対応済の SBAC-T40 や SBAC-US30 などが既にお手元にある場合は、そちらをお使いください。

8. ログ取得について

Utility の Help 上に、Mac の場合、ログフォルダが、Mojave 以降、「/Library/Logs/AXSM 」から「/Library/Application Support/AXSM/Logs/」に変更される旨が記載されていますが、Mojave より前の MacOS であっても、最新環境にて「/Library/Application Support/AXSM/Logs/」に変更されます。

9. ソフトウェアなどの入手先について

ソフトウェアやドキュメントは、Product Resources Search – Sony Pro サイトから対象機種名 (AXS-AR3 等) で検索して、入手することが出来ます。(https://pro.sony/product-resources/product-resources-search)

【Windows 環境について】

・Windows10 および Windows11 に導入された Defender の新機能による影響について、ご案内いたします。

Defender に「ランサムウェアの防止」機能が搭載されましたが、Windows Security 画面の「ランサムウェア防止設定」の中で、コントロールされたフォルダーアクセスが『ON』に設定されていると、AXSM Drive Utility は正常に動作しないことがあります。

動作しない場合は、下記の3つのソフトウェアを「許可されたアプリを追加する」に加えてください。

フォルダー : C:\Program Files (x86)\Sony\AXSM
アプリケーションソフトウェア : AXSMDriveUtility.exe
AxsMemSvc.exe
AxsMemUtilityListener.exe

・ Windows11 22H2 から導入された Smart App Control (SAC) による影響について、ご案内いたします。

Windows11 22H2 から利用可能になりましたスマートアプリコントロール (Smart App Control、以下 SAC と略) が「オン」に設定されている場合、AXSM Drive Utility を起動すると「このアプリの一部がブロックされています」と表示されることがあります。これは、SAC によって、そのアプリのデジタル署名をクラウド上でチェックできない場合などで発生します。

SAC の主な仕様は以下となります。

1. Windows11 22H2 以前のバージョンからアップグレードした PC では SAC は有効化されません。
2. Windows11 22H2 を新規インストールした PC は最初に評価モードとなります。評価モード中は、影響ありませんが、評価モード中に Windows が PC の使われ方を学習した結果、ON にすると判断した場合、SAC が ON となります。
3. SAC が評価モードの判断で ON となった後、SAC を手動で OFF に変更すると、永続的に OFF となります。
もし、「このアプリの一部がブロックされています」が表示された場合、
 - ・ インターネットに接続することで、ご使用になれます。
 - ・ インターネットに接続できない環境でご使用になりたい場合は、一度、インターネットに接続した状態で、本ソフトウェアを一度、アンインストールして、再インストールしてください。その後、Windows OS を再起動して、本ソフトウェアの Utility アプリケーションがブロックされずに起動すること確認してください。以後はネットワークを接続せずにご使用できるようになります。

なお、SAC 機能自体を OFF して無効化することも可能ですが、セキュリティを担保するための機能のため、推奨しません。

<ご参考>

Windows 22H2 以降が初期セットアップされた PC や、OS をクリーンインストールした PC は、SAC 機能が有効化される場合があります。
